

一の宮っ子

第11号

発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL・FAX 0586-73-0356

平成21年3月26日

新年子ども会大会



千秋町連区 一色子ども会

6年 細野 里沙

私達6年生のほとんどが子ども会に6年間お世話になりました。千秋町連区でやる行事の数は少なかつたけど、でも一つ一つは楽しく遊ぶことができました。各子どもでやる一年を通しての行事は違いますが、低学年と高学年という普段あまり遊ぶことのない学年と一緒に遊べるということとはどの子ども会も一緒です。

また、夏季大会やフェスティバルでは、なかなか集まることのない千秋小、千秋東小、千秋南小のみんなと一緒に参加し



▲今年も子ども会活動を頑張ります！

て楽しむことができました。夏季大会では、ソフトドッジとティールボールをやりました。ここでは各子ども会が力を合わせて戦いました。負けるときは悔しかったけど、勝ち進んでいたときは嬉しかったんです。だから、夏季大会では協力してやることで負けたり、失敗しても、みんなやれば楽しいと感じました。そんな楽しい子ども会が、私達が大人になったとき、まだつづいていて子どもたちが楽しんでいてほしいです。

木曾川町連区 福塚子ども会

6年 岡田 一輝

ぼくが、6年間の子ども会行事でとても思い出に残っていることが二つあります。一つは、今年の木曾川地区市民体育祭です。

市民体育祭は、三つの子ども会が一チームになるので、上級生が増え今までは、一度も出場することが出来ませんでした。でも今年は、はじめて綱引きに参加することができました。二連覇がかかっていてとても緊張していたけど、みんな力で合わせて、優勝することが出来て、とてもうれしかったです。

もう一つは、お祭りの後に行われる今年の相撲大会です。同級生の中で、体が小さいほうなので、5年生まで一度も勝てませんでした。一勝しようとして、力いっぱい相手にぶつかっていったら、はじめて勝つことができました。最後にもうこれからは下級生たちのために、みんなが楽しめる子ども会行事を続けていってほしいです。

あそびの発表

向山連区 芝生子ども会

6年 祖父江寛汰

1月10日僕達芝生子ども会は、新年子ども会大会あそびの発表に出演しました。

僕達は、「巨大ふくわらい」をしました。まず、はじめにあいさつの文章を読みました。すごく緊張して手がふるえました。ふくわらいは、役員のお母さん達が作ってくれました。



でっかいふくわらい！
じょうずにできるかなあ？

「男の子」「女の子」「うし」の3つあって、子ども会では、「男の子」「女の子」チームに別れて、「うし」は、会場から8人きてもらいました。ふくわらいをやりに終って、どれが一番しゅわんにできたか、はくしゅをしてもらった時「うし」が一番はくしゅが多かったです。

富士連区 わかば子ども会

6年 江場日菜子

新年子ども会大会のあそびの発表で、富士連区は風船送りゲームをやりました。私は進行役でしたが、市民会館いっばいの人の前で話すのはとても緊張しました。

ゲームが終わって、風船を会場に投げた時、子どもが一斉に前に集まってきてハラハラしましたが、楽しんでくれたので良かったです。私たちが以外の人もすごかったです。

私が一番に残っているのは、奥風たいこです。みんなたいこと一体になり、一生懸命たいていて、たいこへの思いが音から伝わってきました。作曲からがけているところも、すごいと思いました。

この新年子ども会大会に参加することができて、とてもよい経験になりました。



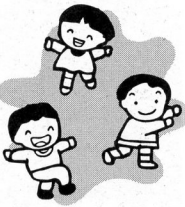
あそびの発表

葉栗連区 大毛子ども会
6年 横井 杏奈

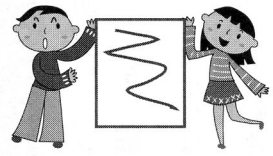
一宮市民会館で新年子ども大会がありました。オープニングショーのプラスチックバンドに圧倒されて、もともとさんちようしていた私は、もつときんちようしました。

本番直前の舞台袖、私はドキドキして本当に失敗せずにちゃんとできるのかな、失敗したらどうしようと思うと頭の中が真っ白になりました。本番、私たちの班は、「魚へんゲーム」、「新聞くぐりゲーム」の発表をしました。

「魚へんゲーム」で使う大きな紙を持つ手がふるえたり、「新聞くぐりゲーム」の新聞をやぶいてしまいうるようになりましたが、ちゃんと失敗せず、楽しい発表ができました。小学校生活最後にとってもいい思い出ができて、良かったです。



▲ちゃんと発表できてよかった～

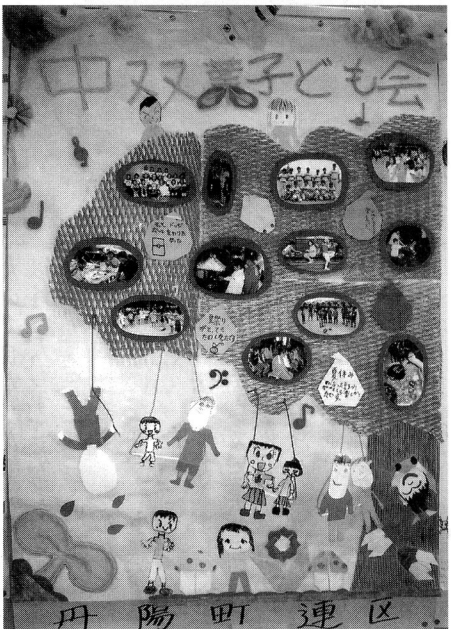


かべ新聞作り

向山連区 東印田子ども会
6年 尾関 歩香

子ども会活動は、ソフトボールやドッジボール、運動会に参加することだと思っていました。今回、かべ新聞を作ることにになり、初めは何をやったらいのかわかりませんでした。母に聞くと「にじを中心子ども会の名前を紹介して、下の方にはどんな活動をしたか写真と作文をはるってのはどう？」と言っていました。「でも何でにじ？」と聞くと「子ども会には色々な人が集まって会を作るでしょ。にじも色々な色で一つになる。それに明るいし、きれいだしね。イメージよ。」と言っていました。私もいっしょになって想像しました。

私は、ドッジボールの文章を書いたり、不思議なマジックを見せてくれた九十一歳のおじさんのことを、友達といっしょにかわいく書きました。最後にみんなが書いた作文と写真を、母たちと五年生の男子ではつていきました。大きなにじは、リボンを使い外で見るにじと同じようにきれいできたと思います。優秀賞がもらえたと聞いてほんとうによかったなと思いました。



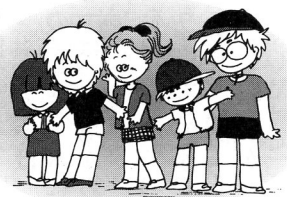
サイコーな中双葉

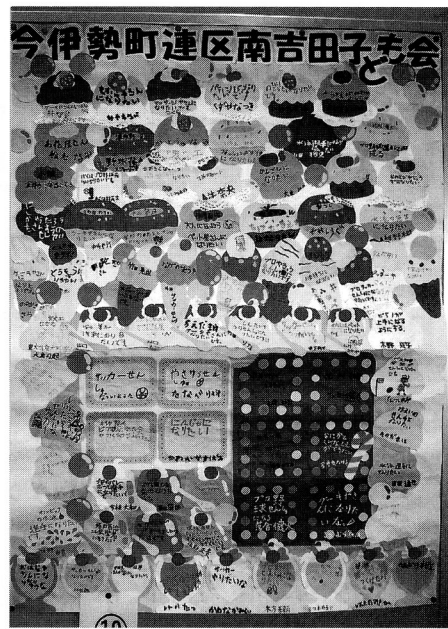
丹陽町連区 中双葉子ども会
6年 宮田 将伍

ぼくたちの子ども会の人数は、決して多くありません。ですが、ぼくたちには、強い絆があります。なにごとにもせつきよくてきに参加し、今回も、みんながかべ新聞を作ったので、このような優秀賞をいただきました。

この作品を作るさい、いろいろなことがありました。この作品は、エコがテーマです。目につく木も、はいざいで作りしました。葉の部分は、ダンボールに色をぬり作りしました。みきの部分も葉と同じように作りしました。人の数をかぞえて見てください。ほんとうにすくない人数ですがこんなすばらしい物ができました。

はじめはみんな、めんどくさいなと思っていました。ですが、はじめてみれば、みんなむがむちゆうになつていきました。こんな体験は、中学校に進んだらけいしてやれないことだと思ひます。ぼくは、サイコーな仲間といっしょに、すばらしい作品を作れてよかったです。





夢いっぱいのお菓子の家

今伊勢町連区 南吉田子ども会
指導者 今枝有里子

南吉田子ども会は現在、男女あわせて79名います。壁新聞を作るにあたり、すべての子ども達に製作する喜びを味わってもらいたくて何度か役員で話し合いをしました。その結果、まず、テーマを「お菓子の家」に決めました。子ども達の大好きなお菓子のパーツに一人一人、将来の夢を書き、お菓子の家の下絵に貼っていくことにしました。



お菓子の家の下絵、パーツ等は事前に役員で作りました。壁新聞作りは毎年、新入生歓迎会の際に行います。用意したお菓子のパーツに子ども達は大興奮です。ケーキ、チョコレート、ドーナツ、アイスクリーム、ビスケット等が生クリームの屋根、スポンジの外壁にどんどん子ども達の手によって貼られていきます。とてもカラフルで美味しそうなお菓子の家が完成しました。

79名の子ども達の夢がいつばいつまった壁新聞が出来上がって、とても良かったと思います。



かべしんぶん

萩原町連区 林野子ども会
6年 大野 聖華

まず、私たち六年生五人が「かべ新聞を作ったほしい。」と言われ、だれもかべ新聞を作ったことが無かったので、「かべ新聞」という物が分かりませんでした。そして、その事について聞いてみると、「子ども会の活動内容や参加した感想などを書いたりするんだよ。」と言われ、楽しそうだと思います。

さて、かべ新聞作りを始めていくと、思っていたよりも楽しく作ることができました。やっぱり、たくさんの人に見てもらいたかったので、たくさん色を使ったりして、はでにしたりなどの工夫もしました。

そして、その結果優秀賞という賞をいただいて、とてもうれしく思いました。

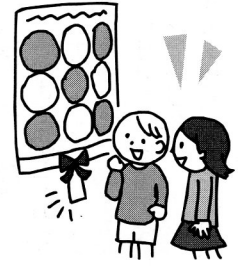


小信中島連区 我曾わかき子ども会
6年 白木 伶奈

子ども会に入った時は、まだ、尾西市で、活動内容や範囲も、尾西市に限られていました。今年から一宮市の行事にも参加するようになりました。そして、その一つである「壁新聞の製作」に参加する事になったのですが、はじめは、「どうしよう...」かと、かなり不安でした。

しかし、自分たちの子ども会行事を四月から振り返って、順番に作成していくうちに、行事ごとに思い出が、段々と浮かび上がり、楽しくなりました。

例えば、春のお祭りでお神輿をかついだ時の肩の痛みやら、地区運動会の大縄跳びで良い結果が出なくて、みんな悔しがった事やら、いっぱい練習したのに雨で中止になったドッジボール大会の事などが、たくさん思い出され、なつかしく思いました。卒業前に、自分が過ぎた子ども会を、じっくりと振り返る機会を与えてくれた「壁新聞の製作」に感謝しています。ありがとうございました。



福祉と ボランテイヤ 活動展

萩原町連区 高木子ども会
6年 小澤 祐稀

私は10月19日に福祉とボランテイヤ活動展へ友達と3人で参りました。最初は学校で使う発表会の資料を集めるためだけに行ったので、「目的のことだけをやって早く帰ろ。」と思っていました。ですが、色々な体験コーナーで私の知らない点訳や手話、朗読、車いす、障害者パソコンなどを体験することができました。点訳では、点筆、じょうぎ、点字板を使って点字を作れるということを知りました。他にもゲームを楽しむところやビンゴゲーム、動物風船、風船つり、子ども会のコーナーではスポンジボールを作りました。スポンジで作ったスポンジボールを箱やかごの中に入れて遊ぶもので、とてもおもしろかったです。

私はここに来て、色々な勉強をすることができとてもたのしかったです。また、このよきな活動展があれば体験しに来たいです。



ふくしとボランテイヤ
かつどうてんにさんかして
北方町連区
狐塚ニコニコ子ども会

2年 川島 大輝

10月18日、ぼくは、お母さんと町内の友だちといっしょに「ふくしとボランテイヤかつどうてん」に行きました。子ども会のコーナーでは、いろいろな子ども会のかつどうポスターがあり、どれもこれもすごいカッコいいポスターでした。どれが一番かアンケートがありました。とてもまよってしまいました。そのあと、バルーンアートやポンポン玉入れなどの工作やゲームをむかになつてやりました。あつという間に時間がすぎていきました。

それから、クイズラリーをしていて、いろいろな人に出会いました。耳の聞こえない人から手話を教えてもらったり、目が見えない人にはしゃべるパソコンのうち方を教えてもらったりしました。どの人もやさしくて、笑顔いっぱいでした。ペットの話をしたり、家族の話をしたり、ぼくはとっても楽しかったです。点字もいかにかんたんだったのか、びっくりしました。家に帰って、教えてもらった手話などをお父さんに教えてあげました。とても、おどろいていました。こんどは、お父さんといっしょに行きたいと思いました。

代表者研修会

代表者研修会に参加して
今伊勢町連区 昭和子ども会

指導者 坂野 優美

私は、指導者としてこの一年やつてきて、もうすぐ任期も終わろうとしているこの時期に、どんな研修会をするのかとても緊張しながら参加しました。「一年間を振り返り指導者として感じた事」というテーマで、いろいろな子ども会の方の話を聞く事ができました。

大人数 少人数の子ども会それぞれにいろいろな悩みや問題点がある事をすごく実感しました。私はどちらかというと無難にこの一年やつてきたので、とてもパワフルに子ども達の為に活動されている方の話を聞き反省しました。「大人がレールをひいてあげ、子どもが自発的に行動するのを待つ事」と助言を頂きました。大人はできるだけ見守り、子どもが主体となり活動していく、子どもの為の子ども会に今後変わっていくといいなと思いました。



▲ 問題点を一つ一つ改善していきたいです

開明連区 将監子ども会
指導者 田口多加子

「一年間を振り返り指導者として感じたこと」をテーマに一宮市の子ども会の指導者が6つの分科会に分かれて話し合いました。

各子ども会が、一ケタの人数から百人を超える子ども会まで様々で、いろいろな成果や問題点を話し合いました。子ども活動が少なくなつて子どもという深刻な話もありました。「役員決め」でもめるといふ所も多くありました。役員が近づいてくるとやめていく人、高学年になるほど役員が減る所や、毎年のように役員が回ってくる所など問題は様々でした。でも指導者をやった方ほとんどが「大変だったけど、子どもとかかわれてよかった」という感想をお持ちでした。「子どものために」という思いは次の指導者の方につながるべく大切なもので、そのためには地域の方の理解とサポートが必要だと思いました。

分科会のまとめ

良かった点
子ども達の顔と名前を覚える事が出来、皆と協力して活動

が行え、活力となった。
役員を三年先まで決めてある。
父親の協力でキックベースを行う事ができた。
子どもに任せていく事で子どもの成長を感じた。
低学年の父母も役員を経験できた。

他学年の子どもやお母さん達と交流できた。

問題点

仕事を持たれているお母さんが多かったり、少子化の為に子ども会の存続が難しい。
役員選出が大変だった。

助言

低学年の親は指導者でなくても協力してもらいたい。

行事予定

○平成21年度
一宮市子ども会指導者研修会
4月25日(土) 一宮市民会館

編集後記

たくさんの方の思い出と共に6年生の旅立ちの時期になりました。皆さんから元気一杯の原稿をお寄せいただきありがとうございました。今後楽しんで読んでいただける様頑張りたいと思います。

広報委員

- 渡部 規子・棚橋久美子
- 西山 和代・田中比登美
- 馬場あや子・山田 真弓
- 前田 優子・浅井小百合
- 小笠原洋美・岩田さとみ